

緑岡中学校区 学校運営協議会制度に関する研究

学校名 緑岡小学校 緑岡中学校

研究主題 地域と学校を結ぶコミュニティスクールの導入

～地域とともにある学校づくりを目指して～

1 主題設定の理由

緑岡中学校区は緑岡小学校と緑岡中学校の2校であり、児童数は912名、生徒数は500名（令和3年3月31日現在）と、大規模校である。学区は広く、小学生は徒歩とバスを利用しての通学、中学生は徒歩と自転車を利用しての通学である。また学区内では旧6号国道と50号バイパスが交差しており、交通量が非常に多く、朝夕は自動車の渋滞が多い地域である。そのため、出勤時は渋滞を避けるための狭い抜け道を利用する方が多く、児童生徒の登校時は地域全体で子供の安全を見守る雰囲気がとても高い地域である。特に、登校時や下校時には広範囲に渡り交通安全指導に自主的に取り組んでいただいている保護者や地域の方が大変多い。

また、地域の活動も盛んであり、長年にわたって学校と地域の関わりが深い地域である。主なものとして

- ・ 緑岡地区少年の主張
- ・ 緑岡地区ふれあい夏祭り
- ・ 緑岡地区子ども会親善球技大会
- ・ 郷土かるた緑岡地区大会
- ・ スナックゴルフ大会
- ・ 緑岡地区市民スポーツ大会
- ・ 緑岡地区防火防災・交通安全のつどい

などがあり、毎年盛況である。

このような中、学校と保護者や地域の方々がともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、協働しながら子供たちの豊かな成長を支え「地域とともにある学校づくり」を進めることが必要である。

そこで、緑岡小・中学校は両校の実態を共有しながら「1小1中」のよさを十分に活用し、地域とともにある学校づくりを目指していくことが大切である。そのためにも学校運営協議会を通して地域と学校を結ぶコミュニティスクールの導入を、緑岡小学校、緑岡中学校、地域の方々と取り組んでいきたい。

以上のことから、地域とともにある学校づくりを通して、地域と学校を結び付けるコミュニティスクールの導入を行い、地域と学校が一緒にできることを共有し、児童生徒が地域の一員であるとの意識向上を目指していきたいと考え、本主題を設定した。

2 研究のねらい

- (1) コミュニティスクール委員会としての学校運営協議会の充実を図り、地域と学校の目指すところを共有し、連携を図っていく。

(2) 緑岡地区の一員として児童生徒の将来を見据えた目標とビジョンの共有を図り、地域と学校の連携や協働を通じた特色ある学校づくりや地域づくりを図る。

3 具体的な取組内容

(1) 昨年度からの継続した取組

令和元～2年度に水戸市研究指定校として「地域と学校を結ぶコミュニティスクールの導入～地域とともにある学校づくりを目指して～」を研究主題として、緑岡地区学校運営協議会を母体とし研究を進めてきた。令和元年度は学校運営協議会を4回開催した。

【第1回学校運営協議会】令和元年5月28日(火)

○主な内容

- ・委員の委嘱，自己紹介，趣旨説明，
会長選出学校運営基本方針案承認，
今年度の活動計画



〈委員の委嘱〉

(議事録より)

- 1 入学式，卒業式，学校運営協議会などの「案内状」を廃止してはどうか。
- 2 緑岡地区の活性化を図るための熟議を取り入れたい。
- 3 子供たちが緑岡地区を「楽しみ」「好き」「自慢」できるようにしたい。
- 4 「何を変えるのか，何を変えないのか」を明確にして活動しよう。
- 5 先生が輝けないと子供も輝けない地域で学校，先生をサポートしよう。

【第2回学校運営協議会】令和元年6月27日(木)

○主な内容

- ・小学校授業参観，児童・保護者の現状把握
(議事録より)

- 1 参観する保護者が多くて驚くとともに，
関心の高さを感じた。
- 2 インターネット等を通して得られる，教育に関する情報が豊富である。
- 3 PTAとともに地域として教職員をサポートしていく。



参観の様子

○第2回協議会から実現したもの

- ・ミストシャワー(きずなの会)の設置，地域の建築工事現場での生徒の作品展示

【第3回学校運営協議会】令和元年12月6日(金)

○主な内容

- ・中学校授業参観，教職員の勤務実態，地域学校協働活動，緑岡地区の特色を生かす取組について

(議事録より)

- 1 自由に発言できる雰囲気での授業
- 2 教職員の勤務実態について
 - (1) 教師は仕事依存症ではないか。
 - (2) 業務の棚卸（数値化）が必要ではないか。
- 3 学校運営協議会としてできること
 - (1) 登下校の緑岡小学校見守りは保護者がやるべきではないか。
 - (2) 教員の労働環境改善を図り、先生になりたい若者を増やしていこう。
 - (3) P T Aの存在意義を見直していこう。
 - (4) 緑岡地区で学校を育てていこう。

【第4回学校運営協議会】令和2年3月4日（水）

○主な内容

- ・今年度の総括，今後の取組の確認
- ・来年度の緑岡小・中「学校運営基本方針」の説明と承認

(2) 令和2年度 of 取組内容

感染対策のため昨年度のような取組ができない中ではあるが，学校運営協議会を3回開催することができた。いずれも短時間で，換気をしっかりし，ソーシャルディスタンスの確保とともに対面にならないなどを徹底した。

【第1回学校運営会議】

書面にて開催

○主な内容

グランドデザインを送付，承認



緑岡中学校区小中移管教育グランドデザイン

【第2回学校運営協議会】令和2年10月27日（火）

○主な内容

- ・中学校授業参観，新型コロナウイルス感染予防対策，学校評価アンケート
(議事録より)

- 1 新型コロナウイルス対応を生かし，機会をとらえる。

- (1) 機会：既存の機器活用，教育環境見直し，感謝の心の育成
- (2) 児童・生徒，保護者のストレスチェックを押し測ろう。



中学校授業参観

【第3回学校運営協議会】令和2年12月21日(月)

○主な内容：

- ・ 小学校授業参観，教育現場の現状と課題について

(議事録より)

1 教員の勤務時間について

- (1) 短い時間で質を高めるために第三者(別の世界)から話を聞く。
- (2) 教育の生産性という視点から…K P I (重要業績評価指数)から考えてみる大切である。
- (3) 小・中それぞれの日課表の工夫の承認



小学校授業参観

【第4回学校運営協議会】令和3年3月19日(金)

○主な内容

- ・ 学校教育現場の現状と課題について

(議事録より)

1 感染症予防の観点から

- (1) 子供が頑張ったことが正当に評価されているか…子供が頑張ったことを認める機会が欲しい
- (2) コロナ禍の1年を経験し，改善していけばできるものはたくさんある。
- (3) 子供と地域の関わりが深まることで更に安全性は高まっていく。

4 進捗状況と今後の課題

(1) 成果

- ・ 令和元年度，令和2年度ともに4回(令和2年度の内1回は書面開催)の学校運営協議会を開催し，授業参観を通して児童生徒や教職員を見ていただき，学校運営協議会委員の方々に日常の姿や生活の理解を深めることができた。
- ・ 地域の方々や保護者と連携したあいさつ運動を通して，協働の意識が高まった。
- ・ 学校の取組に対し，学校運営協議会委員の方々から肯定的な評価や助言をいただき，今後の工夫・改善の足掛かりとなった。
- ・ 子ども会活動が少なくなっていく中，地域の中で地域総合スポーツに移行していくなど，新たな取組を知ることができた。

(2) 課題

- ・ 集まるのが難しくなっており，現在の感染対策を十分にした上で，学校運営協議会の開催についての工夫が必要である。
- ・ 地域の課題や将来を見据えたコーディネーターの役割を担う人材をしっかりと位置付ける必要がある。